



☆わくわくセンター主催イベント

■スキルアップ講座(年4回開催)―平成18年度に行った講座

市民活動のヒントとなる話を、専門家にさせていただきます。皆さんのイベントに活かしてみてください。

- 発想を変えよう！事業のステップアップ～助成金獲得まで～
講師：舟橋正浩さん(特定非営利活動法人NPO愛知ネット)
- みんなで遊べるレクリエーションメニューを覚えて活動に役立てよう！
「ゆ～ら」公式審判講習
講師：大野幾生さん(愛知産業大学助教授)
- 想いが伝わる話し方～ラジオブースから情報を届けるプロに学ぶ！～
講師：のだゆきさん(ピッチエフエムパーソナリティ)
- 市民活動に活かすための手づくり講座～古布でつくる！簡単裂き織り～
講師：濱崎泰子さん、ふれあい「えのき」のみなさん



■わくわくサロン(年6回開催)―一回は2月24日(土)午後6時30分～8時



NPOや市民活動にかかわっている人をゲストに招き、体験談や活動の話をさせていただきます。後半はゲストと気軽に交流できる機会もあります。

テーマ▶障がい者自立への想い！

～障がい者雇用の事業所立ち上げ～

ゲスト▶岡部扶美子さん(特定非営利活動法人パンドラの会代表)

参加費▶無料

定員▶15人(先着順)

運営委員長の太田克子さんへインタビュー



私自身のボランティア活動のきっかけは、点字・点訳に興味を持ったことに始まります。点訳サークル結成にかかわったり、福祉まつりにも第1回から運営委員として活動したりしてきました。このわくわくセンターの運営委員をさせていただくことになったのも、ボランティア連絡協議会や社会福祉協議会ボランティアセンターの役員を務めさせていただいている経験からでしょうか。

センターの運営委員長としては、このセンターが今後さらに充実していくために、新しい人たちを呼び込むような企画・講座を期待しています。団塊の

世代の人たちがリタイアした後の受け皿としての機能強化や、昼間なら時間があるという主婦層や高齢者の積極的な活動を応援していきたいです。

また、センターだけの枠にとらわれず、個々のボランティア活動拠点が持っている情報の共有の場が欲しいです。現在はわくわくセンター、社会福祉協議会、生涯学習課などが別々にボランティア団体を登録しています。それぞれに登録されている団体には得意分野もあれば、苦手な分野もあるでしょう。それを互いに補い合い、また利用者(市民の皆さん)にとっても、一度そこに聞けば知りたい情報がすぐに得られる、というのは必要なことではないでしょうか。これからは横のつながりを広げて、市民の皆さんにとって、もっと便利な情報の集約・発信の組織づくりを迫られていると思います。

☆アンケート調査結果

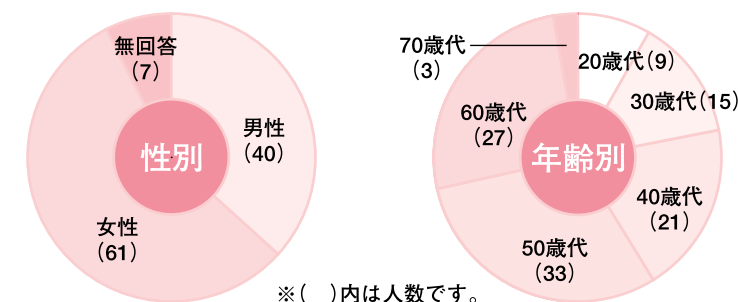
調査時期 平成18年11月

対象者数 203人

回答者数 108人(回収率53.2%)

※アンケート結果の詳細は、同センターホームページをご覧ください。

アドレス▶ <http://www.katch.ne.jp/~center/>



■施設利用状況

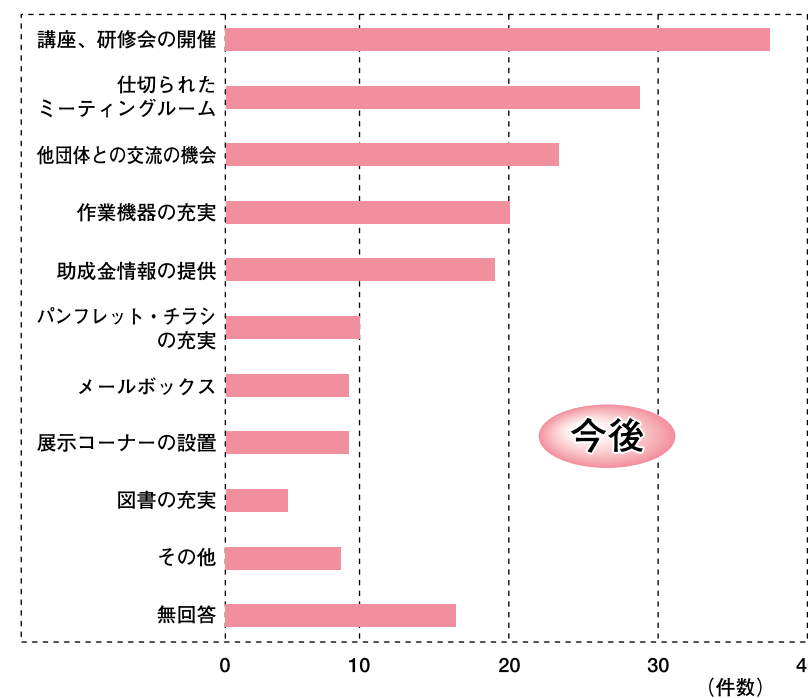
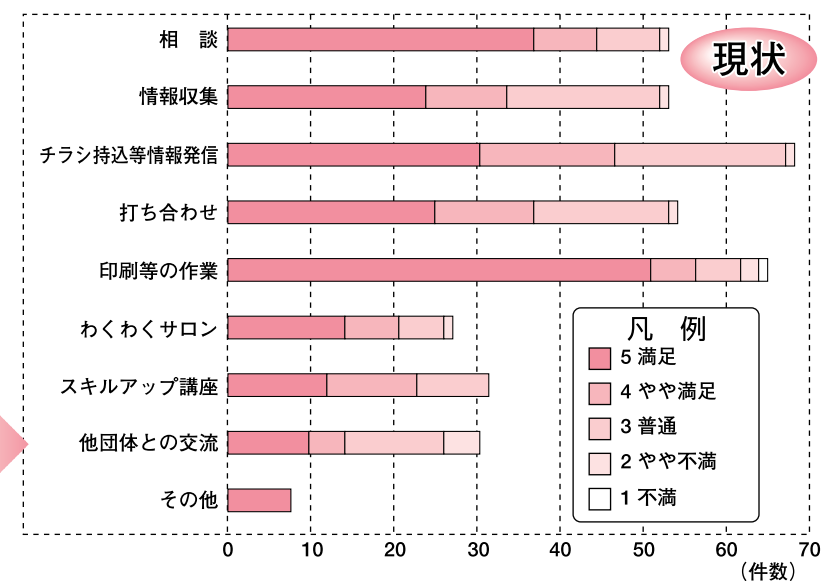
- ①来館者数 4,696人
- ②マッチング件数 48件
- ③相談件数 327件
- ④登録団体数 213団体
- ⑤個人登録者数 42人

※①②③は、平成18年1月～12月の実績。

④⑤は、平成18年12月末の登録数。

■利用内容とその評価

- わくわくセンターの機能が各団体に活用されている。



■わくわくセンターに期待する機能

■その他の意見

- わくわくセンターは楽しいところで、気軽に行ける。公園があるのが良い。
- 受け身ではなく能動的な心構えで利用すればこんなに良いセンターはない。
- 他団体との交流の機会を多く持てるようになればと思う。
- もう少し交通の便が良く、高齢者・身体障害者にもやさしい施設がよい。
- 平日の講座・研修なら参加できる。
- 市民活動センターなのにあまり浸透していないように感じる。親しみやすい愛称もあるのに知られていない。わくわくと、気になる情報の発信場所であって欲しい。